

令和8年2月4日

鈴鹿市長

鈴鹿市立保育所設置条例の一部を改正する条例

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように定める。

改 正 後	改 正 前
<p>第 6 条 略</p> <p><u>(乳児等通園支援事業の実施等)</u></p>	<p>第 6 条 略</p>
<p>第 7 条 <u>市は、規則で定める保育所において、乳児等通園支援事業（法第 6 条の 3 第 23 項に規定する乳児等通園支援事業をいう。次項において同じ。）を行う。</u></p> <p><u>2 市長は、乳児等通園支援事業を利用した乳児又は幼児の保護者から当該事業の実施に要する費用として利用した時間 1 時間につき 300 円を徴収する。</u></p> <p>(保育料及び利用料の減免)</p>	<p>第 7 条 市長は、特別の理由があると認めるときは、第 4 条第 1 項の規定により徴収する保育料又は<u>第 5 条第 1 項</u>若しくは<u>前条第 1 項</u>の規定により徴収する利用料を軽減し、又は免除することができる。</p>
<p>第 8 条 市長は、特別の理由があると認めるときは、第 4 条第 1 項の規定により徴収する保育料又は<u>第 5 条第 2 項、第 6 条第 2 項若しくは前条第 2 項</u>の規定により徴収する利用料を軽減し、又は免除することができる。</p>	<p>第 7 条 市長は、特別の理由があると認めるときは、第 4 条第 1 項の規定により徴収する保育料又は<u>第 5 条第 1 項</u>若しくは<u>前条第 1 項</u>の規定により徴収する利用料を軽減し、又は免除することができる。</p>
<p>第 9 条 略</p>	<p>第 8 条 略</p>

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。